

サルコペニア症例における摂食嚥下障害と舌圧との関係

あぶら たに り え¹⁾ かわ さき ゆう じ²⁾ あか い やす ゆき¹⁾
油 谷 梨 恵¹⁾ 河 崎 雄 司²⁾ 赤 井 靖 之¹⁾
こ いけ はな こ¹⁾ か とう かず ひろ²⁾ すぎ はら つとむ³⁾
小 池 花 子¹⁾ 加 藤 和 宏²⁾ 杉 原 勉³⁾

キーワード：サルコペニア，摂食嚥下障害，舌圧，低栄養

要 旨

サルコペニアの原因の1つである低栄養は摂食嚥下障害（以下嚥下障害）によっても生じる。サルコペニアにおいて舌圧の低下が嚥下障害の原因になるとの報告がある。本検討の目的は，サルコペニアのリスク因子である低栄養の改善を目指して，嚥下障害への対応を舌圧との関係から考えることとした。方法は入院症例74名をサルコペニア群と非サルコペニア群に分け採血検査値，舌圧，嚥下障害等を比較した。サルコペニア群では非サルコペニア群に比較してBMIやヘモグロビン値などは低値であり低栄養の状態であった。舌圧もサルコペニア群では低値であった。嚥下障害はFOIS（Functional oral intake scale）を用いて判定した。サルコペニア群ではFOISレベルは低値であり嚥下障害が多かった。また，舌圧とFOISレベルとの関係を調べ，舌圧とFOISレベルの間に正の相関を認めた。サルコペニア群では舌圧低下によりFOISレベルが低値となり，嚥下障害が生じるものと考えられた。サルコペニアでは舌圧を高めることで嚥下障害，さらには低栄養を改善できる可能性が考えられた。

はじめに

サルコペニアは骨格筋量の低下と筋力，または身体機能の低下と定義されている高齢者に見られる疾患である¹⁾。近年，高齢者の増加に伴いサル

コペニアが注目され，その対策の重要性も増している。

サルコペニアの原因は加齢，疾患，低活動，低栄養とされているが¹⁾，このうち低栄養は介入が可能で効果の得られやすい病態である。低栄養にはさまざまな要因の関与が知られているが，摂食嚥下障害（以下嚥下障害と略す）によっても低栄養が生じる²⁾。この嚥下障害の原因の1つに嚥下筋の筋力低下がある。舌圧は嚥下筋の筋力の代表とされ，サルコペニアにおいても舌圧の低下が嚥

Rie ABURATANI et al.

1) 安来第一病院 言語聴覚療法科

2) 安来第一病院 呼吸器内科

3) 安来第一病院 乳腺外科

連絡先：〒692-0011安来市安来町 899-1

安来第一病院